

令和元年12月20日

三鷹市議会議長 石 井 良 司 様

厚生委員長 宍 戸 治 重

厚生委員会管外視察結果報告書

本委員会は、令和元年度管外視察を下記のとおり実施したので報告いたします。

記

1 視察期日

令和元年10月16日（水）から10月17日（木）まで

2 視察先

春日井市（愛知県）、寝屋川市（大阪府）

3 視察項目

(1) ママ自身の活動やリフレッシュを応援する体制づくり（春日井市）

本市では、子ども発達支援センター、総合保健センター及び子ども家庭支援センターが連携し、「子育て世代包括支援センター機能」を充実させ、「相談支援」「地域支援」「情報提供」の3つの柱を軸に「ウェルカムベビープロジェクトみたか」として妊娠期から切れ目なく全ての子どもの育ちを支援している。

この取り組みの一環として産後ケア事業では、出産後に家族等から支援を受けられない又は支援を必要とする産婦及び乳児に対し、産後安心して子育てができる支援体制を確保し、母子等の心身の健康の保持増進を図ることを目的に、デイサービス型の産後ケア事業「ゆりかごプラス」を実施しているところである。

そこで、本市議会としても今後の「ウェルカムベビープロジェクトみたか」の推進の参考とするため、先進事例の視察を行った。

(2) 市立子育てリフレッシュ館RELATTO(リラット)（寝屋川市）

本市では、子ども発達支援センター、総合保健センター及び子ども家庭支援センターが連携し、「子育て世代包括支援センター機能」を充実させ、「相談支援」「地域支援」「情報提供」の3つの柱を軸に「ウェルカムベビープロジェクトみたか」として妊娠期から切れ目なく全ての子どもの育ちを支援して

いる。

この取り組みの一環として、子ども家庭支援センターを中心に、子どもと家庭に関する総合相談事業のほか、総合的な子育て支援を推進するサービスとして、緊急一時保育事業、トワイライトステイ事業、子どもショートステイ事業、育児支援ヘルパー事業等を実施しているところである。

そこで、本市議会としても、今後の「ウェルカムベビープロジェクトみたか」の推進に向けた参考とするため、先進事例の視察を行った。

4 出張者

(1) 厚生委員

宍戸 治重、赤松 大一、成田ちひろ、岩見 大三、伊沢けい子、
後藤 貴光

※ 前田 まい委員は欠席

(2) 同行職員

子ども政策部長 濱仲 純子

(3) 随行職員

議会事務局調査係主任 篠崎 美和

春日井市

ママ自身の活動やリフレッシュを応援する体制づくり

1 取り組みの背景

春日井市は、名古屋市に隣接する住宅都市として近年も人口が緩やかに増加し、全体としては転入超過となっているものの、0～14歳の世代が転出超過となっており、子育て世代が流出している状況にあった。また、第3子以降の合計特殊出生率が低く、要因の一つとして、子育ての不安や負担が大きいということが考えられた。さらに、就労状況は他市町村と比較して、結婚・出産後に離職するケースが多いが、就学前児童を持つ就労していない母親は将来的な就労意欲は高いことから、女性の働きやすい環境の提供と子育てに対する不安・負担の軽減が必要と考えられていた。

2 取り組みの経緯

特に若い子育て世代から子育ての舞台として選ばれるまちになることを重視し、妊産婦ケア事業を開始するなど、子どもや子育てに関する施策を積極的に推進した。平成28年2月17日には「春日井市で働きたい!」「春日井市で産みたい!育てたい!」「春日井市に住みたい!住み続けたい!」の3つの基本目標を掲げた「春日井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を発表した。この基本目標の実現に向け、NPO団体や実際に子育てをしている母親たちとともに、平成28年3月24日に「子はかすがい、子育ては春日井」宣言を行い、子育て支援をさらに充実させ、ママ自身の活動やリフレッシュを応援する体制づくりを進めている。

3 代表的な取り組みの概要

(1) 移動型地域子育て支援事業（子育てサポートキャラバン隊）

| | |
|------|---|
| 事業開始 | 平成23年度 |
| 内容 | 保育士などの職員がボールプールなどの遊具やおもちゃ、絵本を車に積んで、ふれあいセンターや公民館などに出向き、親子と一緒に楽しめる遊びや子育て相談を行う |
| 対象 | おおむね3歳までの未就園児とその保護者 |
| 日時 | 1施設につき月1回実施。午前10時～11時30分 ※ 南部ふれあいセンターのみ月3回実施 |
| 定員 | 会場の定員（40名程度） |
| 場所 | 公民館等の市内6施設 |
| 申込 | 不要（自由参加） |
| スタッフ | 保育士4名、保健師1名 |

| | |
|----|---|
| 実績 | 平成30年度実績 実施場所数 4か所 延べ利用組数 1,203組 (2,575人) |
| 課題 | 事業の実施は各施設月1回程度であり、子どもの居場所づくりのさらなる拡充の検討が必要である |

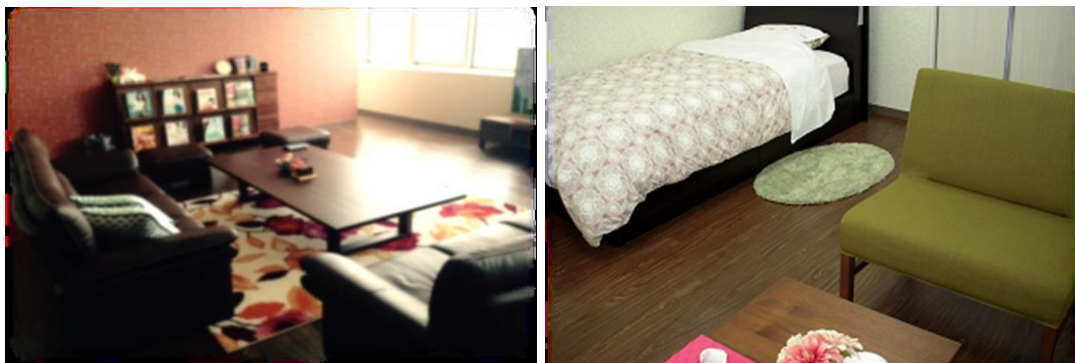


民間企業からの寄付金を活用して購入した専用車（春日井市提供資料）

(2) 妊産婦ケア事業（さんさんルーム）

| | |
|------|---|
| 事業開始 | 平成26年度 |
| 内容 | 母親が安らげる空間の提供及び専門職による相談支援（授乳、栄養、育児、心の相談など） |
| 対象 | 次のいずれかに当てはまる春日井市民で、妊娠中又は1歳未満の子どもがいる母親 ・育児疲れがあり、ゆっくりと休みたい ・家族などから育児の支援が受けられない ・育児の不安があり相談がしたい |
| 日時 | 平日（月曜日から金曜日まで）午前10時から午後4時まで |
| 定員 | 1日7組まで（予約制） |
| 場所 | 総合保健医療センター3階 妊産婦ケア室（春日井市民病院敷地内） |
| 利用料 | 1回 1,000円 |
| 利用回数 | 週1回まで |
| 予約方法 | 電話 |
| スタッフ | 助産師、保健師、管理栄養士、臨床心理士、保育士等 |
| 実績 | 平成30年度実績 ・利用人数 延べ895組（うち妊婦延べ31組、産婦延べ864組） 実績292組 ・相談件数 870件 |

| | |
|-----|--|
| 課 題 | さんさんルームを利用できなくなった後（子どもが1歳以降）母親が困らないよう、必要なサービスへ確実に繋いでいく |
|-----|--|



さんさんルーム内観（春日井市提供資料）

(3) 子育て女性就労応援事業（ママインターン）

| | |
|------|---|
| 事業開始 | 平成28年度 |
| 内 容 | 子育てをしながら働く機会の提供 （市内企業等において週2回、2ヶ月程度） |
| 対 象 | 働く意欲があるが一步を踏み出せない母親 |
| 実 績 | 平成30年度実績 参加者数 8名（平均年齢 39歳） 子ども平均人数 1.3人（平均年齢 5歳） 受入先 8か所 平成29年度参加者のその後 参加者数 13名 就職者数 6名（受入先へは4名） |
| 課 題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ママインターン参加者の選択肢をより多くするために賛同企業の裾野を拡大する必要がある ・子育て世代が働きやすい環境の整備として、ママインターン事業と他の施策との連携が必要である |

(4) ママハッピー度調査

| | |
|------|--|
| 事業開始 | 平成28年度 |
| 内 容 | スマートフォンを活用したアンケート（選択式及び自由意見） |
| 対 象 | 0～15歳の保護者 |
| 調査方法 | ・WEBアンケート及びアンケート用紙を市役所庁舎1階に設置したアンケート回収BOXに投函 |

| | <ul style="list-style-type: none"> ・年1回程度実施 ・アンケート結果は市ホームページ等で公開 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|------|----|---------|-----|----|-----|---------------|-----|---------|----|-----|----|-----|----|------|----|------------|-----|-------|-----|------------|-----|---------|----|-----|----|-----|----|------|----|----------|-----|----|-----|----------|-----|--------|----|-----|----|-----|-----|
| 実績 | <p>平成30年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート期間 平成30年7月12日～9月12日 ・回答数 1,019件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調査結果 | <p>平成30年度調査結果（選択式部分）</p> <p>設問1 春日井市は子育てしやすいまちですか？</p> <table border="1"> <caption>設問1 春日井市は子育てしやすいまちですか？</caption> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育てしやすい</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>あまり子育てしやすすくない</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>子育てしにくい</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>設問2 今の自分の生活に満足していますか？</p> <table border="1"> <caption>設問2 今の自分の生活に満足していますか？</caption> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まあまあ満足している</td> <td>52%</td> </tr> <tr> <td>分からない</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>あまり満足していない</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>満足していない</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>設問3 春日井市の暮らしやすさや何点ですか？</p> <table border="1"> <caption>設問3 春日井市の暮らしやすさや何点ですか？</caption> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まあ暮らしやすい</td> <td>48%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>やや暮らしにくい</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>暮らしにくい</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>12%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(春日井市ホームページより)</p> | 回答内容 | 割合 | 子育てしやすい | 44% | 普通 | 35% | あまり子育てしやすすくない | 11% | 子育てしにくい | 3% | 未回答 | 0% | その他 | 7% | 回答内容 | 割合 | まあまあ満足している | 52% | 分からない | 20% | あまり満足していない | 18% | 満足していない | 3% | 未回答 | 0% | その他 | 7% | 回答内容 | 割合 | まあ暮らしやすい | 48% | 普通 | 28% | やや暮らしにくい | 11% | 暮らしにくい | 1% | 未回答 | 0% | その他 | 12% |
| 回答内容 | 割合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 子育てしやすい | 44% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 普通 | 35% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| あまり子育てしやすすくない | 11% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 子育てしにくい | 3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未回答 | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 回答内容 | 割合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まあまあ満足している | 52% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分からない | 20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| あまり満足していない | 18% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 満足していない | 3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未回答 | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 回答内容 | 割合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まあ暮らしやすい | 48% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 普通 | 28% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| やや暮らしにくい | 11% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 暮らしにくい | 1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未回答 | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 12% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-----|---|
| 課 題 | ママハッピー度調査アンケートシステムの維持管理費がかかり、費用対効果を高める策が必要である |
|-----|---|

◎ 主な質疑

- ・障がいのある子どもの子育てサポートキャラバン隊利用について
- ・さんさんルームの利用料金設定の根拠について
- ・さんさんルームの利用を1歳未満の子どもがいる母親とした理由について
- ・さんさんルームにおける多職種連携の取り組みについて
- ・さんさんルームのリピート率について
- ・ママインターン参加時の保育対応について
- ・ママハッピー度調査に至る経緯について

◎ 主な提供資料

- ・春日井市の子育て支援について
- ・「子はかすがい、子育ては春日井」宣言事業について
- ・春日井市妊産婦ケア事業「さんさんルーム」の概要
- ・子育てサポートキャラバン隊（移動型地域子育て支援事業）について
- ・ママインターン・ハッピー度調査について
- ・かすがい子育て応援ガイドブック2019
- ・春日井市総合保健医療センター（パンフレット）

寝屋川市

市立子育てリフレッシュ館RELATTO(リラット)

1 取り組みの背景

寝屋川市では、出生数が微減の傾向にあり、合計特殊出生率は国や大阪府の数値と比べて高いものの、人口を維持するのに必要とされる水準を大きく下回っている状況であった。現在出産する年齢の大半を占める25歳から39歳までの年齢層の女性の数が減少することも相まって、今後も出生数は減少すると想定されている。市制施行時から続いていた人口の自然増加も、少子化の進行により平成21年から自然減少に転じており、今後更に自然減少の抑制に取り組む必要がある。また、平成27年度に実施した市民アンケート調査によると、本市在住の若い世代は、子どもを持つ希望があるにもかかわらず、子育てに関する不安が大きく、希望する子どもの数を持っていないことが分かった。

こうした市民の希望の実現を図るため、結婚・出産・子育てに関する様々な負担を軽減させるとともに、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援を行うことにより、将来を担う子どもたちが生まれ、育ち、学び、安全に心豊かに、社会の担い手として成長できる環境づくりが求められていた。

2 取り組みの経緯

「命を守る」ことを市政の基本として、子どもを守る施策に注力し、在宅の子育て家庭を含めた子育て支援の充実を図るため、一時預かり等を行う施設整備の検討を開始した。「寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定にあたり（仮称）子育てリフレッシュ館と子育て世代包括支援センターの開設を明記し、より利用しやすい一時預かり事業等の実施や子育て世代包括支援センターの設置、さまざまな子育て支援事業との連携による妊娠期から子育て期にわたる総合的・包括的な切れ目のない支援を行うことが検討された。

- ・平成27年度～ 施設開設に向けた取り組みを開始
- ・平成28年度 実施設計
- ・平成29・30年度 建設工事を実施
- ・平成29年度 館の愛称募集を行い、RELATTO（リラット）に決定
- ・平成30年度 開設

3 事業の概要

子どもや保護者のリフレッシュを図るため、一時預かり事業、遊びスペース及びリフレッシュ講座等の運営を行うとともに、館の利用促進を図るため、館の魅力や取り組みを市内外に情報発信する。

(1) 子ども（小学校就学の始期に達するまでの者をいう。以下同じ。）の遊び場

の提供に関すること。

- (2) 一時預かり事業に関すること。
- (3) 子育てについての情報交換及び保護者（子どもの父母その他の保護者をいう。以下同じ。）の交流の促進に関すること。
- (4) 妊産婦及び保護者の子育て等についての相談に関すること。
- (5) 子育て支援及び子どもや保護者のリフレッシュのための講座等の開催に関すること。
- (6) 子育てに係る相互援助活動の促進に関すること。
- (7) 子育てに係るサークル活動の支援に関すること。
- (8) 子育てに関する情報の提供に関すること。

(寝屋川市立子育てリフレッシュ館条例より)

4 施設の概要

(1) 1階

ア キッズ・スマイル・パーク（遊びスペース）

天候に左右されることなく、親子が室内で安全に遊べる場所。全身を使った遊びや頭を使い創造する遊びなどを通じて、子どもの心身の成長やコミュニケーション力の向上につなげる。

| | |
|------|---|
| 料 金 | 会員登録は無料、遊びスペースの利用は有料 遊びスペース利用料金（大人も子どもも同じ料金） ・最初の1時間は250円（市内在住）又は350円（市外在住） 以降30分ごとに100円又は150円（満1歳未満児は無料） ・利用できる子どもは、保護者1人につき3人まで |
| 利用時間 | 午前10時～午後5時（第2日曜日・第4火曜日除く） |
| 対 象 | 小学校就学前の子どもとその保護者 |

(2) 2階

ア 保育ルーム（一時預かり）

小学校就学前の子育てをしている市内在住の保護者が、用事やリフレッシュ等のために子どもを時間単位で一時的に預けることができる（要事前面接）。また、予約には携帯端末用アプリを活用するなど利便性の高いサービスを提供する。

| | |
|------|------------------------------|
| 利用時間 | 午前9時～午後5時（月～金曜日） |
| 料 金 | 児童1人あたり1時間、3歳未満500円、3歳以上400円 |

イ 子育て世代包括支援センター

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行い、必要な情報提供や助言を行う。また、母子健康手帳を交付する全ての妊婦に個別の子育て支

援プランを作成し提供する。

- ・利用時間 午前9時～午後5時30分（月曜日～金曜日）

ウ ファミリー・サポート・センター

「子育ての応援を受けたい方」と「子育ての応援をしたい方」を結び合わせて、地域の中で育児を支え合う相互援助活動を行う会員制の子育てネットワーク。

- ・開所時間 午前9時～午後4時（月曜日～土曜日）

エ 子育てコンシェルジュと子育て応援サポーター

子育てを楽しめるようにお手伝いする職員

(ア) 子育てコンシェルジュ

子育てに関するお話を伺い、さまざまな子育てに関する情報やサービスを判りやすく提供する。

(イ) 子育て応援サポーター

市内の遊べる場所に、保護者の不安な気持ちに寄り添いながら同行し、最初の一歩を踏み出す手伝いをする。

(3) 3階

ア 講座・セミナールーム（定員80人）

キッチンスペースを併設し、離乳食講座、クッキング、ヨガ教室など保護者がリフレッシュできる講座や親子で参加できる講座等を実施する。



RELATTO(リラット)外観・内観（寝屋川市ホームページより）

5 移動式赤ちゃんの駅

(1) 概要

寝屋川市の区域内で開催されるイベントに乳児を連れた保護者が安心して参加できるよう、テント、おむつ交換台及び授乳用クッションの貸し出しを行う。
（平成27年8月から実施）

ア 貸出内容

- ・テント（幅270cm×高さ275cm×奥行180cm、重さ26kg）

- ・折りたたみ式おむつ交換台（幅65cm×高さ63cm×奥行82.5cm、重さ10kg、耐荷重30kg、対象年齢は生後1か月から12か月）

- ・授乳用クッション

イ 団体の要件

- ・市内でイベントを主催する団体
- ・特定の政治、思想又は宗教の活動を目的としない団体
- ・営利を目的としない団体
- ・法令又は公序良俗に反しない団体

ウ イベントの要件

- ・乳幼児を連れた市内に住所を有する者が参加できるイベント
- ・特定の政治、思想又は宗教の活動を目的としないイベント
- ・営利を目的としないイベント
- ・法令又は公序良俗に反しないイベント

エ 貸出期間

イベントの実施期間に前後1日を加えたうち、7日以内

オ 申込方法

利用日の6か月前から7日前までに、申込書を市ホームページからダウンロードし、利用目的がわかる資料（チラシ・計画書など）を添付して、RELATTO(リラット)内事務室に提出



移動式赤ちゃんの駅（寝屋川市提供資料より）

6 課題

- ・さまざまなイベントの実施による館の「鮮度」の維持・向上
- ・ホスピタリティ等の運営・ノウハウ施行による経営戦略
- ・ホームページ閲覧者から共感、信頼を得ることのできる情報発信
- ・移動式赤ちゃんの駅の利用団体が固定化しないよう、周知に努めること

◎ 主な質疑

- ・ R E L A T T O (リラット)建設以前の同敷地の利用経緯について
- ・ 立地及び交通手段への課題等について
- ・ 予約ツールの利用割合及び運用について
- ・ 遊びスペースの利用料金設定の根拠について
- ・ 子育て世代包括支援センターへの相談内容について
- ・ 遊びスペースの遊具選定の経緯について
- ・ 人件費及び利用料収入について
- ・ 移動式赤ちゃんの駅が設置されたイベントの実績について

◎ 主な提供資料

- ・ 寝屋川市の概要について
- ・ R E L A T T O (リラット) について
- ・ 移動式赤ちゃんの駅について
- ・ 市立子育てリフレッシュ館 R E L A T T O (リラット)パンフレット

〔最後に〕

以上、調査事項について資料等による説明、施設の視察、各委員の質疑等によって判明したことを含め、視察の概要を記した。

なお、視察項目の設定に当たっては、前述のとおり本市における現在の行政課題等を念頭に行ったものである。

また、視察時間を有効に活用するため、事前に視察項目に関する資料を収集し、本市事業との比較、検討を行った上で視察に臨んだ。

本委員会は、これらの成果を今後の委員会活動はもとより、市行政に反映させていくことを確認し、管外視察の結果報告とする。